

海外貿易の先駆者

川村 永之助

かわむら えいのすけ

出身地 秋田市

1841年（天保12年）～1909年（明治42年）

養蚕の研究に当たり、川尻組の頭取となる。輸出用蚕種紙の製造から外国貿易に進出。イタリアのトリノに出張所を開き、欧州と直接取引。日本輸出蚕種紙の約4分の1を達成、秋田蚕種紙と川尻組の世界的名声を勝ち得る。



年譜

- 1841年 秋田市に生まれる。
- 1877年 川尻組を設立し、頭取。横浜で外国貿易を行う。
- 1878年 大橋淡、川村恒蔵をイタリアに派遣。
- 1879年 ゼノワ殿下来日。蚕種紙12枚を献上し感謝状。
- 1881年 イタリアに渡り、トリノに川尻組出張所を設置。
明治天皇、川尻組・秋成社機業場を天覧。
- 1883年 郡繭糸品評会を開催。
- 1885年 輸出日本蚕種紙4万6000枚のうち
川尻組が1万1000枚を占める。
- 1909年 秋田市で没。67歳。